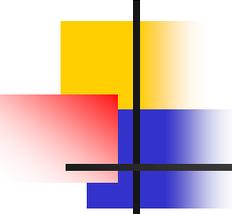


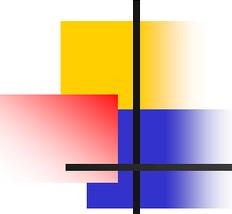
JAバンク青森の地域密着型金融 の取組状況について（平成26年度）

平成27年11月
農林中央金庫青森支店



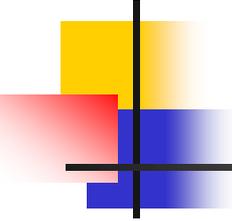
JAバンク青森（県内10JA，農林中央金庫青森支店）では，農業と地域社会に貢献するため，JAバンク中期戦略（平成25～27年度）に基づき，地域密着型金融に取り組んでおります。

平成26年度の地域密着型金融の実績について取りまとめましたので，ご報告いたします。

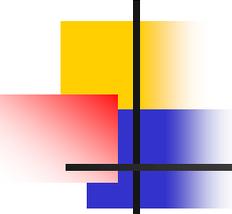


目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 … P. 4
- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P. 11
- III 農業資金対応等による経営支援 … P. 14
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … P. 17



I 農山漁村等地域の活性化のための 融資をはじめとする支援



最適な農業資金提供に向けた取組み

- JAバンク青森は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成27年3月末時点のJAバンク青森の農業関係資金残高^(注1)は29,901百万円となっています。

(注1) 農業関係資金残高とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

【資金種類別農業関係資金残高】

単位 百万円

種 類	平成27年3月末
プロパー資金(注1)	24,154
農業制度資金(注2)	5,747
農業近代化資金	1,927
その他制度資金(注3)	3,820
合 計	29,901

(注1) プロパー資金とは、JAバンクの資金を原資として融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。

(注3) その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業関係資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成27年3月末
日本政策金融公庫資金	3,035

(注)

JAバンク青森では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫の受託貸付金を取り扱っています。

【営農類型別農業関係資金残高】

単位 百万円

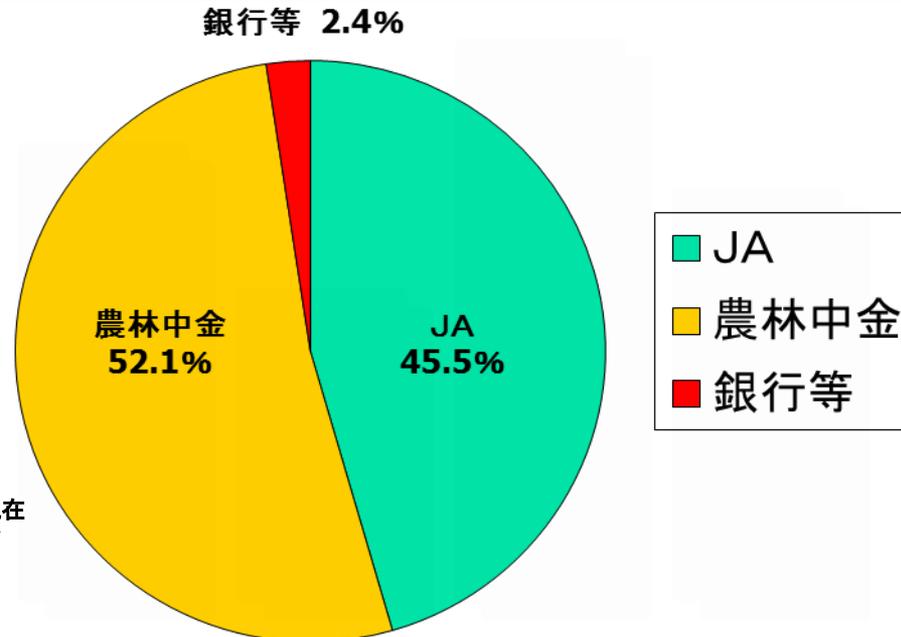
営農類型	平成27年3月末
農業	26,216
穀作	6,289
野菜・園芸	3,906
果樹・樹園野菜	5,125
工芸作物	456
養豚・肉牛・酪農	1,660
養鶏・鶏卵	61
その他農業 ^(注1)	8,719
農業関連団体等 ^(注2)	3,685
合計	29,901

(注1) 「その他農業」には、複合経営で主たる営農類型が明確に位置づけられない農業者に加えて農業サービス業や農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注2) 「農業関連団体等」には、JA・全農ならびにその子会社等が含まれています。

JAバンク青森は農業関係の主要な制度資金である農業近代化資金の取扱いにおいてトップシェアとなっております。

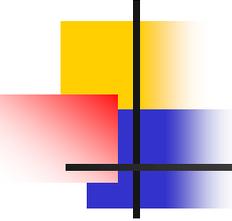
青森県の農業近代化資金 融資残高のシェア



平成26年12月末現在
出所：農林水産省

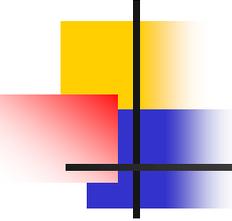
担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク青森では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- 県内JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めて把握し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JAと農林中央金庫青森支店に計59人の「担い手金融リーダー」を設置し、農業融資担当者の活動をサポートしています。
- 農林中央金庫青森支店では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。



JA内事業間連携の強化

- 農業者の多様なニーズにJAを挙げて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への合同訪問等により、これまで以上に、事業間連携を強化しています。



Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに 応じた支援

経営不振農業者の経営改善支援

- JAバンク青森では、農家負担軽減支援特別資金の対応にあたり、地域において特別融資制度推進会議を開催し、農業者の経営再建に向けて関係機関と協議しています。

【平成26年度の農業者の経営改善支援取組実績】

	期初経営改善 支援取組先数 A	Aのうち期中に 再生計画を策 定した先数 a	Aのうち期末に 債務者区分が ランクアップし た先数 b	Aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数 c	事業計画 策定率 a/A	ランクアップ 率 b/A
正常先	135	0		132	0.0%	
要注意先	435	2	33	400	0.5%	7.6%
要管理先	180	0	26	154	0.0%	14.4%
破綻懸念先	165	0	3	162	0.0%	1.8%
実質破綻先	48	0	2	46	0.0%	4.2%
破綻先	6	0	0	6	0.0%	0.0%
合計	969	2	64	900	0.2%	6.6%

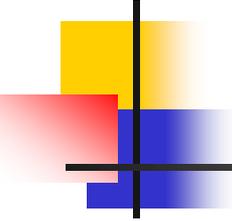
(注) 経営改善支援取組先は、JA・農林中金が再生計画の策定など、経営改善支援に取組んだ先として指定したものをいいます。
ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。

講演会・セミナーの開催

- JAバンク青森では、講演会の開催を通じ、県内農業法人との関係強化に取り組んでいます。

【平成26年度 講演実績】

講演名	参加対象者	主催者（共催を含む）
JAバンクグループの 農業金融サポートについて	県内認定農業者・農業法人	青森県農業会議 青森県農業経営者協会 農林中央金庫青森支店
	法人協会会員	青森県農業法人協会
JAバンク青森の農業資金について 青森県稲作経営特別セーフティネット 資金制度について	稲作経営者	青森県農業会議
JAバンク青森の農業資金について	認定農業者	青森県農業会議 青森県農業経営者協会 青森県農業法人協会



Ⅲ 農業資金対応等による経営支援

負債整理資金による経営支援

- JAバンク青森では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

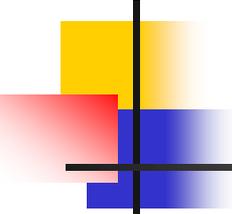
【平成26年度 負債整理資金貸出実績】

単位 件, 百万円

	実行件数	実行金額	平成27年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金(注1)	1	23	521
畜産特別資金(注2)	0	0	20
合計	1	23	541

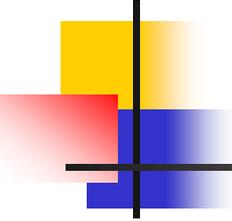
(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

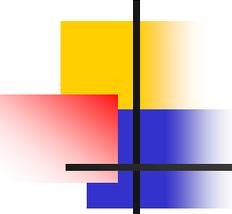


農業融資への利子助成の実施

- 農業者に対する農業近代化資金，JA農機ハウスローン，スーパーS資金等の融資について，農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が利子助成を行い，農業経営をサポートしております。
- 平成26年度は県下JAが融資する3,386件の農業資金に対し，49百万円の利子助成を行いました。



IV 農山漁村等地域の情報集積を活用 した持続可能な農山漁村等地域育成 への貢献



災害などの被災者への支援

- JAバンク青森では、災害等の被災者を支援するため、平成26年度は青森県稲作経営特別セーフティネット資金や災害対策資金の創設、利子助成等を実施したほか、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

【県内JAによる対策資金①】

JA名	取組み	内容	件数	金額
県内全JA	青森県稲作経営特別 セーフティネット資金	平成26年の米価下落による稲作農家の経営悪化を防ぐため、青森県・JAグループ三連（注）からの利子補給を受けた無利子の資金を活用しました。	685件	822百万円

（注） JAグループ三連…農林中央金庫青森支店，全国農業協同組合連合会青森県本部，全国共済農業協同組合連合会青森県本部

【県内JAによる対策資金②】

JA名	取組み	内 容	件 数	金 額
JA 青森	1 平成26年産米農業 経営円滑化資金	1 平成26年の米価下落により、農業経営の維持、安定が困難な組合員に対し、低利資金を対応しました。	53件	76百万円
	2 平成26年産りんご 農業経営円滑化資金	2 平成26年の降雹被害を受けた組合員に対し、低利資金を対応しました。	3件	4百万円
JA つがる弘前	農業災害資金	平成26年の降雹被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利資金を対応しました。	29件	73百万円
JA 津軽みらい	1 平成26年産米価低迷 対策資金	1 米価下落対策の対応として、米生産者に対し、低利資金を対応しました。	27件	43百万円
	2 平成26年気象災害 対策資金	2 災害による果樹落下被害を受けた果樹農家に対し、生活資金・再生費用対応として、低利資金を対応しました。	23件	43百万円

【県内JAによる対策資金③】

JA名	取組み	内 容	件 数	金 額
JAつがるにしきた	平成26年8月大雨災害資金	大雨で農産物の被害を受けた組合員に対し、低利資金を対応しました。	21件	50百万円
JAごしょつがる	平成26年産米仮渡金 特別支援資金	平成26年米仮渡金の下落により、農業経営の維持、安定が困難な組合員に対し、低利資金を対応しました。	287件	380百万円
JA十和田おいらせ	平成26年産米概算金 特別支援資金	平成26年米概算金の下落による稲作農家の経営悪化を防ぐため、無利子資金を対応しました。	64件	42百万円
JAおいらせ	米価緊急特別対策資金	平成26年の米価下落による稲作農家の経営悪化を防ぐため、無利子資金を対応しました。	9件	3百万円

JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク青森では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するために、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンク青森を通じて、平成26年度には県内の小学校302校へ12,148セットを配布しており、学校の授業等において活用されています。



教材「農業とわたしたちの暮らし」表紙

- 県内のJAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでおり、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。平成26年度は青森県農業協同組合中央会、JAの取組みに対して、3,126千円の助成が行われました。

【JAバンク青森食農教育応援事業による活動内容①】

JA名	取組み	内 容
JA青森	稲作体験教室	田植え、農業機械・施設の見学会、稲刈り、収穫祭を実施。
JAつがる弘前	「ちゃぐりん」の寄贈	本を通じて「いのち・自然・食べ物・農業の大切さ」を学ぶ。
JA津軽みらい	わんぱくキッズ・わんぱく農園事業	さつまいもの植え付けなどの農業体験、料理学習会、図画・壁新聞・作文の制作および展示を実施。
JAごしょつがる	稲作体験教室	田植え、稲刈り体験、餅つき大会の開催。

【JAバンク青森食農教育応援事業による活動内容②】

JA名	取組み	内 容
JA十和田おいらせ	稲作体験教室	稲作栽培の体験学習。
	馬鈴薯体験教室	馬鈴薯栽培の体験学習。
JAおいらせ	ちゃぐりんフェスタ	農業・農協に関する学習や地元農産物を使った親子料理講習会および収穫体験。
JA八戸	ちゃぐりんフェスタ	収穫体験や地産地消料理講習、「ちゃぐりん」を活用し、JA事業の周知および食と農への理解を深める活動。
	JAまつり子供図画コンクール	次代を担う子供たちに「食と農」に対する理解を深めてもらう活動。
	JAまつり野菜クイズ	野菜クイズをとおして野菜の知識を増やしてもらう活動。

【JAバンク青森食農教育応援事業による活動内容③】

JA名	取 組 み	内 容
青森県農業協同組合 中央会	農業と食料の大切さを学ぶためのバケツ稲づくり	県内62校に県産米種・肥料セット・栽培マニュアル等は無償提供。また、バケツ・肥料・土購入などの経費として1児童あたり200円を助成（参加児童数2,155名）。
	農業ふれあい教室と作文・かべ新聞コンクール協賛	県内JA女性部が県下の小学生を対象に農業体験および料理教室を実施。加えてこれらの活動にかかる作文・かべ新聞コンクールの開催と表彰を実施。